

取扱説明書

このたびはサカサ式呼吸用保護具をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

業務用 本製品は業務用ですので、労働安全衛生及び呼吸用保護具の十分な知識を有する方が使用するか、または十分な知識を有する方の指導の下で使用してください。

電動ファン付き呼吸用保護具 サカサ式 BL-100 シリーズ

| 対象製品 | 〈型式名称〉 | 〈国家検定合格〉 |
|------|------------------|----------|
| | サカサ式 BL-100U-03 | 第 TP12 号 |
| | サカサ式 BL-100H-05 | 第 TP5 号 |
| | サカサ式 BL-100S-05 | 第 TP8 号 |
| | サカサ式 BL-100SC-05 | 第 TP9 号 |

使用目的

本製品は、空気中に浮遊する粉じんをろ過した清浄空気をマスクに内蔵した電動ファンにより供給し、呼吸による粉じんのばく露を防ぐための電動ファン付き呼吸用保護具です。

特長

十分な送風を維持して使用することで面体内を陽圧に保つことができるため、万が一、接顔部などにすき間が生じた場合に、粉じんが侵入することを防ぐ効果が期待できます。

- 呼吸追従方式（ブレスレスポンス方式）BSFS（Breath-Synchronized Air Flow System）機構**
 - 呼吸量に合わせて送風を行うことで、滑らかで自然な呼吸を行います。
 - ろ過材へのムダな粉じん堆積を抑制します。
 - 排気時にはファンの回転を制御するため、電力消費を大幅に低減します。
- 半面形面体**
 - 接顔体はシリコンゴムを採用。肌荒れを起こしにくく、清掃しやすい面体です。
 - フリーポジションアンダーチン面体を採用。1つのサイズでほとんどの人が良好なフィットを得やすい形状です。
 - ワンタッチ取付け機構を採用し、ろ過材の交換が容易です。
 - マスクを装着した上から、ヘルメットを併用できます。
- 電圧低下警報装置付き** 注1
電圧が低下したことを自動的に検知し、ランプの点灯で警報します。
- ろ過材交換警報装置付き** 注2
ろ過材の交換時期を検知し、ランプの点滅によって警報します。

注1、2 警報を発するまでの時間は、呼吸量、粉じんの発生量などによって異なります。

安全に正しくご使用いただくために

この取扱説明書は、安全上重要な内容に△危険、△警告、△注意を記載しています。以下が定義ですので、内容をよく理解したうえ、本文をお読みください。

△危険… 記述内容に従った操作や処理を守らないと**生命、身体に重大な被害を及ぼす可能性が高い**ことを意味します。

△警告… 記述内容に従った操作や処理を守らないと**生命、身体に重大な被害を及ぼす可能性がある**ことを意味します。

△注意… 記述内容に従った操作や処理を守らないと、**身体に軽微な被害または物損事故をおこすおそれがある**ことを意味します。



危険

- ・酸素欠乏環境（酸素濃度 18%未満）では使用できません。
- ・本製品は粉じん環境用です。有毒ガスが存在する環境では使用できません。

目次

| | |
|-----------------------------|----------|
| 使用環境について | 2ページ |
| 構造及び各部の名称 | |
| 主要部品の名称と役割 | 3ページ |
| 性能及び仕様 | 4ページ |
| ご使用になる前に | 4ページ |
| 使用前点検 | 5～6ページ |
| 使用方法 | |
| 1. 各部の接続と装着方法 | 7～9ページ |
| (1) ろ過材の取付け（交換） | 7ページ |
| (2) 電池の装填 | 7ページ |
| (3) マスク部の装着のしかた | 8ページ |
| (4) マスク部とバッテリーケースの接続 | 9ページ |
| (5) クリップの取付け | 9ページ |
| (6) 「シールチェック（フィットチェック）」のしかた | 9ページ |
| 2. 使用上の注意事項 | 10ページ |
| 3. 使用中の警報ランプについて | 10ページ |
| 4. 取りはずし方法 | 11ページ |
| 保守管理について | |
| 1. お手入れのしかた | 11ページ |
| 2. 電池の充電方法 | 12ページ |
| 3. 部品の交換方法 | 13～14ページ |
| 4. 保管のしかた | 15ページ |
| 本製品を正しくお使いいただくために | 15ページ |
| 交換用部品について | 16ページ |
| オプション品（別売）について | 16ページ |

使用環境について

○使用可能な作業環境

粉じん、ほこり、溶接ヒューム等が発生しており、酸素濃度が18%以上、かつ有毒ガスが存在せず、5～40℃の温度環境。
例) 鉱物性粉じん、粉体原料、土石粉じん、溶接ヒューム、ほこり作業、研磨作業など

×使用に適さない環境

下記の危険・警告・注意欄をご覧ください。

△危険

- 酸素欠乏環境（酸素濃度が18%未満）、酸素濃度が不明、又は有毒ガス環境では、絶対に使用しないでください。酸素欠乏・ガス中毒のため、死亡もしくは急性障害などになります。このような環境では送気マスク等をご使用ください。
- 「ダイオキシンのばく露のおそれがある作業」、「アスベスト（石綿）除去作業」、「これらに準ずる作業」では「BL-100S」、「BL-100SC」は使用できません。「BL-100U」、「BL-100H」をご使用ください。（アスベスト（石綿）除去作業及びダイオキシン類レベル1作業で使用することができます。）*
- 火花の発生により爆発する可能性のある粉じん環境、可燃性ガス環境では使用しないでください。電池の使用により火花が発生し、爆発するおそれがあります。
- 雷管取扱作業を行う際には、必ず本製品のバッテリーケース（電池を含む）を取りはずしてご使用ください。バッテリーケース（電池含む）は、漏電等による爆発のおそれのない安全な場所で取りはずして保管してください。

*ダイオキシン類のばく露のおそれがある作業、アスベスト（石綿）除去作業、インジウム等の有害性の高い物質を取り扱う作業等の際には顔等への有害物質の付着を防止するため専用フードの併用をお薦めします。

△警告

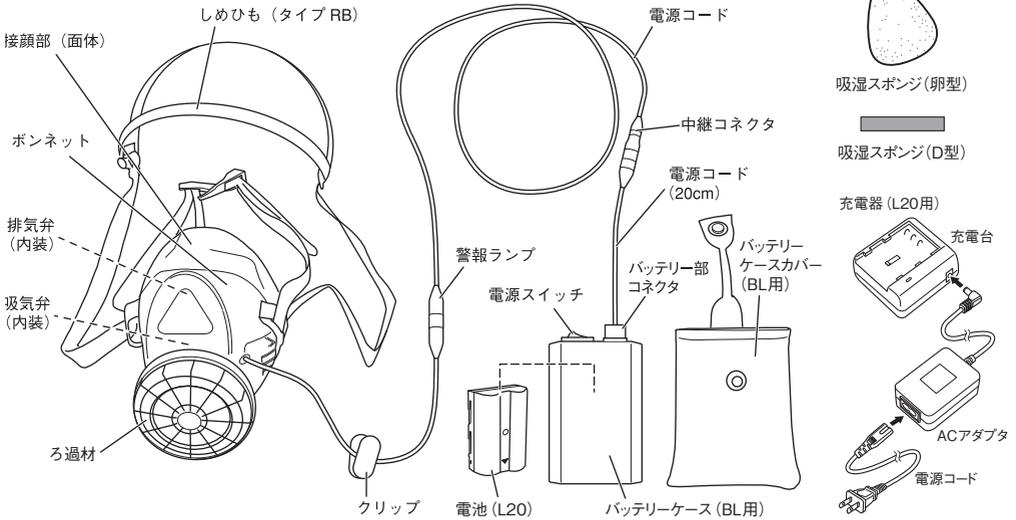
- 環境温度が5℃から40℃の範囲で使用してください。また、輻射熱が存在する環境では耐熱対策を行ってください。部品の動作不良が生じ、粉じんが漏れ込むおそれがあります。また、電池の劣化や誤作動の原因になります。
- 溶接作業や研磨作業などの際に、火花や火花などが発生する場合は、吸気口キャップ（別売）を必ずろ過材に取り付けてご使用ください。（「BL-100SC」には吸気口キャップが付属しています。）吸気口からのスパッタや火花などの侵入を低減する効果があります。吸気口からスパッタや火花などが侵入すると、ろ過材が破損するおそれがあります。
- ガウジング作業などの際に、スパッタや大量の火の粉が発生する場合は、溶接面に頭巾等を併用してください。

△注意

- 許容濃度以下のオゾン臭や有機臭には「BL-100SC」をご使用ください。「BL-100SC」の専用ろ過材である「BLA-6C型」以外は、臭気に対する効果が全くありませんので使用しないでください。
- マスク内部やバッテリーケース内部に水等の液体が侵入する場所や湿度が高くなる状態では使用しないでください。回路がショートするおそれがあります。液体や湿度の影響が考えられる環境下で使用する場合は、バッテリーケース用防滴カバー（別売）を使用してください。
- 電動ファンが停止した場合、速やかに有害物質などのない安全な場所に移動してください。

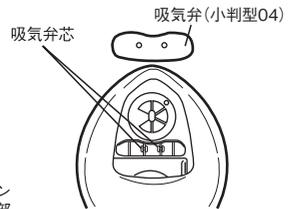
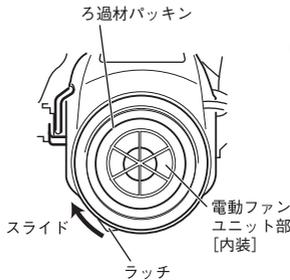
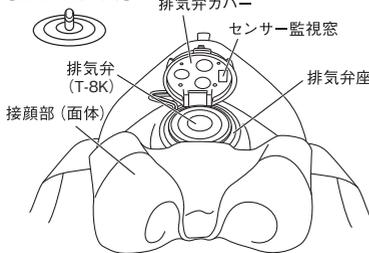
構造及び各部の名称

主要部品の名称と役割



【排気弁部】

〔交換用排気弁〕



【接顔部 (面体) 内側】

- 接顔部 (面体) 密着性が高く、肌に優しいシリコンゴムを採用しています。
- ボンネット..... 電動ファンユニット、排気弁部などを内蔵しています。
- ろ過材..... アルファリングフィルタを使用し粉じんをろ過します。
 —マスク名称— —専用のろ過材—
 ◎必ず製品に対応する BL-100U BRD-8U 型
 専用ろ過材をご使用 BL-100H BRD-7 型
 ください。 BL-100S BLA-6 型
 BL-100SC BLA-6C 型
- バッテリーケース..... 専用の電池を1個格納します。胸ポケットに入る軽量・小型タイプ。また、付属品のバッテリーケースカバーを使用して腰ベルトに装着が可能です。
- 電池..... 専用のリチウムイオン電池1個を使用。充電して繰り返し使用できます。
- 充電器..... 専用の電池を充電する際に使用します。
- 電源コード..... バッテリーケースから電動ファンユニットに電力を供給します。マスクを装着してからバッテリーケースを接続することができます。
- クリップ..... 作業時に電源コードがたれるなどして、作業の邪魔にならないようにするために使用します。
- 電源スイッチ..... 電源のON/OFFを切り替えます。
- 警報ランプ..... ・電圧の低下 (充電時期) をランプの点灯によって警報します。
 (電圧低下/ろ過材交換) ・ろ過材の交換時期をランプの点滅によって警報します。
 ※弊社の試験規格に基づいて設定しています。目安とお考えください。
- 吸湿スポンジ..... 接顔部の内側に溜まる湿気や汗を吸湿します。(取付けは14ページ)

◎しめひもは、標準品の“タイプRB”のほかポリバンド部分が頭テープ状の“タイプRA”仕様もあります。

性能及び仕様

| | | | | |
|----------------------|---|------------|------------|-------------|
| 形式名称 | BL-100U-03 | BL-100H-05 | BL-100S-05 | BL-100SC-05 |
| 国家検定合格 | 第TP12号 | 第TP5号 | 第TP8号 | 第TP9号 |
| 使用ろ過材 | BRD-8U型 | BRD-7型 | BLA-6型 | BLA-6C型 |
| 種類 | 直結式面体形（半面形面体） | | | |
| 電動ファンの性能 | 大風量形 | | | |
| 漏れ率 | S級 | | B級 | |
| ろ過材の性能 | PL3 | | PL1 | |
| 指定防護係数 | 300 ^{*1} | | 14 | |
| 社内基準値 | 粒子捕集効率 | 99.99%以上 | 99.97%以上 | 95.0%以上 |
| | 漏れ率 | 0.1%以下 | | 5.0%以下 |
| | 面体内圧 | 0～400Pa | | |
| | 吸気抵抗 | 110Pa以下 | | 90Pa以下 |
| | 排気抵抗 | 60Pa以下 | | |
| | 二酸化炭素濃度上昇値 | 0.6%以下 | | |
| | 質量 | 397g以下 | | 383g以下 |
| | 公称稼働時間 ^{*2} | 約9時間 | | 約10時間 |
| 実務稼働時間 ^{*3} | 10～18時間 | | 12～22時間 | |
| 電池 | 専用リチウムイオン二次電池 (定格電圧：7.2V 定格容量：2000mAh) | | | |
| 充電可能回数 | 約300回 ^{*4} | | | |
| 充電時間 | 約3時間 ^{*4} | | | |
| 電動ファンの耐久時間 | 約2,000時間 ^{*4} | | | |

※1 本製品は弊社による模擬作業場所防護係数（SWPF）測定の結果、指定防護係数が300を上回ることを証明します。

※2 大風量形の呼吸条件において、通常の室内で面体内圧が陽圧を維持できる時間（国家検定規格）

※3 実作業時の作業者の呼吸データを用いて、粉じん環境下で面体内圧が陽圧を維持できる時間

※4 使用状況により短くなる場合があります。

警報ランプ

- 面体内圧を監視し、面体内圧が低下した場合に点滅を始めます。一時的な内圧の低下であれば、その後に点滅が止まりますが、継続した内圧の低下の場合は点滅が早まり、電源スイッチを切るまで点滅続けます。（安全な場所で新しいろ過材と交換してください）
- 電圧が低下した場合、点灯します。（安全な場所で電池を充電するか、充電済みの電池に交換してください）

警報ランプの作動

| | | |
|----|--|---|
| 点滅 | 遅い点滅 2秒に1回点滅 (1秒点灯・1秒消灯を繰り返す) | 一時的に面体内圧が低下した場合に点滅します。 面体内圧の低下が継続しなければ警報ランプは消灯します。 |
| | 早い点滅 0.5秒に1回点滅 (0.25秒毎に点灯・消灯を繰り返す) | 面体内圧の低下が一定時間続いた場合には点滅が早くなります。 ろ過材交換の目安となります。※ |

※排気弁が汚れると、警報ランプが点滅する場合があります。排気弁を清掃してください。

| | | |
|----|-------|--|
| 点灯 | 1秒間点灯 | 電源をONにした直後、1秒間だけ点灯します。点灯しない場合は修理を依頼してください。 |
| | 継続点灯 | 電池の電圧が低下した場合点灯します。充電するか充電済みの電池に交換してください。 |

◎警報ランプは、マスクを装着して電源をONにした時（使用状態）のろ過材の交換時期及び電圧の低下（充電時期）について警報するものです。

◎マスクを装着せずに電源をONにした場合、面体内圧の状態を正しく感知できません。この場合、ランプの点灯などは警報機能によるものではありませんので、装着をした状態で再度ご確認ください。

ご使用になる前に

ご使用になる際は、必ずく使用前点検（5～6ページ）><各部の接続と装着方法（7～9ページ）>の順番通りに行ってください。また、<使用上の注意事項（10ページ）>の内容をよくお読みになり、安全にご使用ください。

使用前点検

安全のため、使用前点検は必ず行ってください。

△警告

●使用前に必ず下表の点検項目を点検し、異常があった場合はそのまま使用せずに異常時の処置を行ってください。

- 点検は粉じんや有害物質などが無い、安全な場所で行ってください。
- 修理及び部品の交換についてはお買い上げの販売店または弊社営業所までお問い合わせください。
- 点検方法や異常時の処置はく保守管理について（11～15ページ）を参照してください。

| 点検順序 | 点検項目（箇所） | | 判定基準 | 異常時の処置 |
|-----------|---------------------------------|--|--|--|
| 1 | 接顔部（面体） | 目視。 軽く引っ張る。 | ●面体内部に粉じんの付着がないこと。 ●ひび割れや亀裂、変形、穴などの破損、ゴムの劣化によるべつつき、または著しい汚れなどが無いこと。 | ●著しい汚れや粉じんの付着は清掃する。 ●破損がある場合は、マスクを新品と交換する。 |
| | ボンネット | 目視。 | ●ひび割れや亀裂、変形、キズなどの破損、または著しい汚れなどが無いこと。 | ●確実に取り付ける。 ●破損やべつつきがある場合は交換する。 ●著しい汚れは清掃するか新しいものに交換する。 ●異物を取り除く。 →部品の交換方法(13ページ)を参照ください。 |
| | 吸気弁・排気弁 | 目視。 軽く引っ張る。 | ●付け忘れや装着不良がないこと。 ●ひび割れや亀裂、変形、キズなどの破損、ゴムの劣化によるべつつき、または著しい汚れなどが無いこと。 ●異物の付着がないこと。 | ●確実に取り付ける。 ●破損やべつつきがある場合は交換する。 ●著しい汚れは清掃するか新しいものに交換する。 ●異物を取り除く。 →部品の交換方法(13ページ)を参照ください。 |
| | 排気弁座・排気弁カバー | 目視。 | ●排気弁座と排気弁カバーとがしっかりとめ合されていること。 ●亀裂、変形、キズなどの破損、または著しい汚れなどが無いこと。 | ●はめ合わされていない場合はしっかりとめ合わせる。 ●キズなど破損がある場合は修理の依頼をする。 ●汚れ、異物の付着は清掃する。 |
| | センサー監視窓 | 目視。 | ●汚れや異物の付着がないこと。 ●キズなどの破損がないこと。 | ●表面の汚れや異物は清掃する。 ●キズなどの破損がある場合は修理の依頼をする。 →本製品を正しくお使いいただくために(15ページ)を参照ください。 |
| | しめひも・しめひも取付け部 | 目視。 軽く引っ張る。 | ●亀裂、ひび割れなどの破損、劣化によるべつつきがないこと。 ●十分に弾力があり、締め付けに必要な強度があること。 | ●しめひもの破損がある場合は交換する。 ●しめひも取付け部の破損がある場合はマスク部を交換する。 |
| | 電動ファンユニット部 | ろ過材を取りはずして目視。 | ●著しい汚れがないこと。 ●破れ、亀裂などの破損のないこと。 | ●表面の著しい汚れは清掃する。 ●内部の汚れや破損がある場合は、マスクを新品と交換する。 |
| | ラッチ | 目視。 ろ過材を取り付ける。 ^{※1} | ●著しい汚れがないこと。 ●無理なく動き、ろ過材を取り付ける際にラッチが確実に戻ること。 | ●著しい汚れは清掃する。 ●ラッチの作動に異常や破損がある場合は修理の依頼をする。 |
| ろ過材バックイン部 | 目視。 ろ過材を取り付ける。 ^{※1} | ●正しく取付けられていること。 ●ひび割れや亀裂、変形、キズなどの破損や著しい汚れや異物の付着がないこと。 ●ろ過材が確実に取り付けられること。 | ●著しい汚れや異物の付着は清掃する。 ●ろ過材を取り付けられない場合や破損がある場合、取付けに不具合がある場合は修理の依頼をする。 →お手入れのしかた(11ページ)を参照ください。 | |
| 2 | バッテリーケース | 目視。 | ●著しい汚れがないこと。 ●ひび割れや亀裂などの破損がないこと。 | ●著しい汚れは清掃する。 ●破損がある場合は交換する。 |
| | 電源コード | 目視。 | ●中継コネクタのプラグやジャックに破損や欠落、水分の付着、著しい汚れがないこと。 ●コードにひび割れや亀裂などの破損や断線がないこと。 | ●中継コネクタのプラグやジャックに破損や欠落がある場合は修理を依頼する。 ●プラグやジャックに付着した水分はよく拭き取る。 ●著しい汚れは清掃する。 ●コードに破損や断線がある場合は修理の依頼をする。 |
| | クリップ | 目視。 しめひもを挟む。 | ●ひび割れや亀裂などの破損がないこと。 ●汚れや異物の付着がないこと。 ●しめひもをしっかりと挟めること。 | ●破損がある場合は部品を交換する。 ●汚れや異物の付着は清掃する。 ●挟む力が弱い場合は、部品を交換する。 |
| 3 | 電池・電源スイッチ・警報ランプ | 目視。 マスクを装着して電源スイッチを入れる。 ^{※2} (ろ過材が取り付いた状態) | ●外観に破損等がないこと。 ●液もれや変色・変形がないこと。 ●マスクから空気が流れていること。 ●電動ファンが動作すること。 ●警報ランプが点灯し、すぐに消えること。 | ●電池に破損がある場合は電池を交換する。 ●電源スイッチに破損がある場合はバッテリーケースを交換する。 ●充電されていない場合は充電する。 ●充電しても電動ファンが動かない場合は修理を依頼する。 ●電動ファンの運転時間が著しく短くなった場合は電池の劣化、寿命であるため新しい電池と交換する。 ●警報ランプが点灯しない場合は修理を依頼する。 |

※1 く各部の接続と装着方法（7～9ページ）を参照してください。

※2 バッテリーケースに充電済みの専用電池を装填し、マスクを装着して電源コードを繋いだ状態で行ってください。（各部の接続と装着方法（7～9ページ）を参照してください。）

使用前点検

安全のため、使用前点検は必ず行ってください。

| 点検順序 | 点検項目(箇所) | 点検方法 | 判定基準 | 異常時の処置 |
|------|-----------------------------------|--|---|---|
| 4 | 電動ファンの 作動点検 | マスクを装着し、電源 スイッチを入れる。 ^{*2} (ろ過材が取り付いた 状態) | <ul style="list-style-type: none"> ●ファンから異音が生じないこと。 ●呼吸に追隨して送風されること。 (吸気時に送風量が多くなり、排気 時や息を止めている時に送風量が 抑えられている。) | <ul style="list-style-type: none"> ●ファンから異音が生ずる場合は、マ スクを新品に交換する。 ●送風が行われない場合、マスクとバッテ リーケースを20～30℃の環境に移動さ せ30分程度放置してから再度点検する。 また、電池を充電したものに交換す るか、電池を充電する。それでも動 かない場合は修理の依頼をする。 ●呼吸に追隨して送風されない場合は、 排気弁(表裏共に)やセンサー監視 窓に、粉じんや汚れ等が付着してい ないことを確認する。 →本製品を正しくお使いいただく ために(15ページ)を参照ください。 それでも追隨しない場合は、修理を 依頼する。 |
| | 使用前の 風量確認 (面体内圧の 確認) | | <ul style="list-style-type: none"> ●電源スイッチを入れた直後、警報 ランプが1秒だけ点灯し、1分間 経過後に点灯・点滅しないこと。 | <ul style="list-style-type: none"> ●警報ランプが点灯した場合は、電池 を充電したものに交換するか、電池 を充電する。 ●警報ランプが点滅をした場合は、ろ 過材を新しいものに交換する。 →警報ランプの作動 4ページ |
| 5 | ろ過材 | 目視。 ろ過材を取り付けて、 軽く引っ張る。 ^{*1} マスクを装着し、電源 スイッチを入れる。 ^{*2} (ろ過材が取り付いた 状態) | <ul style="list-style-type: none"> ●著しい汚れの付着、ひび割れや亀裂、 変形などの破損やキズがないこと。 ●しっかり取り付いていること。 ●新品でないろ過材を使用する場合 は、目詰まりにより風量が低下して いないこと。 | <ul style="list-style-type: none"> ●ろ過材に著しい汚れがある場合、破 損やキズがある場合は、ろ過材を交 換する。 ●ろ過材が正しく取り付けられてい ない場合は、ろ過材を正しく付け直 す。 ●ろ過材が目詰まりしていたら交換す る。 |
| 6 | 充電器 | 目視。 | <ul style="list-style-type: none"> ●ひび割れ、亀裂、変形などの破損が ないこと。 ●電源プラグや金属端子に欠落等が ないこと。 ●電源プラグ、金属端子に水滴や汚れ、 ほこりや砂等の付着がないこと。 ●充電開始時にランプが点滅し、満充 電時に点灯すること。 | <ul style="list-style-type: none"> ●破損がある場合は、新品に交換する。 ●電源プラグや金属端子に欠落等が ある場合は、新品に交換する。 ●電源プラグ、金属端子に水滴や汚れ、 ほこりや砂等の付着がある場合は完 全に拭き取る。 ●ランプが点滅や点灯しない場合は新 品と交換する。 |
| 7 | 結合状態 | 目視。 | <ul style="list-style-type: none"> ●全ての部品が欠損なくセットされて いること。 | <ul style="list-style-type: none"> ●欠損等がある場合は、各点検項目に 従って確認し、処置を行ってください。 |

◎破損の程度によっては修理が不可能な場合がありますのでご了承ください。

*1 (各部の接続と装着方法(7～9ページ))を参照してください。

*2 バッテリーケースに充電済みの専用電池を装填し、マスクを装着して電源コードを繋いだ状態で行ってください。
(各部の接続と装着方法(7～9ページ))を参照してください。

△警告

- 面体内部に粉じんが付着していないことを必ず確認してください。
面体の内側に付着した粉じんを吸入し、身体に異常をきたすおそれがあります。

△注意

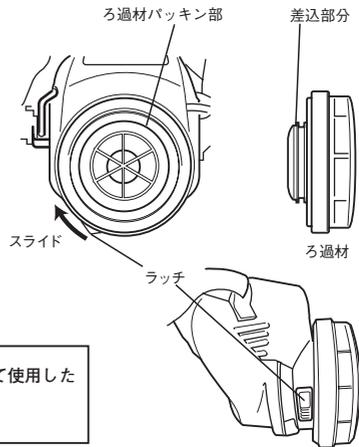
- 本製品は精密な電子部品を内蔵しています。ご使用30分前には20～30℃の環境下に移し、結露の発生しない状態を確認してからお使いください。20℃未満の環境に保管等されていた場合、結露によりセンサーが作動しない可能性があります。
- バッテリーケースの電源をONにしても、電動ファンが作動しない場合があります。
- ご使用前に、排気弁(表裏ともに)やセンサー監視窓に粉じんや汚れ等が付着していないことを必ず確認してください。センサーの作動に影響を及ぼし、ファンが作動しないおそれがあります。
- 放射性物質や石綿除去作業、ダイオキシン類対策で使用した製品の修理はお受けすることができません。

使用方法

1. 各部の接続と装着方法 — 下記の順番で接続してください。また、有害物質などのない安全な場所で行ってください。—
ろ過材は必ず、製品に専用のものをご使用ください。

(1) ろ過材の取付け (交換)

- ① ろ過材の差込部分に歪みやキズ等の破損がないことを確認してください。
- ② 新しいろ過材をカチッと音がして、ラッチが元の位置に戻るまで確実に押し込んでください。ろ過材バックイン部に正面からしっかり取り付けてください。
- ③ ろ過材を軽く引いて確実に取り付けたことを確認してください。
- ④ ろ過材をはずす場合は、マスクの下側にある取りはずし用ラッチを矢印の方向にスライドさせて古いろ過材をはずしてください。



※使用済みのろ過材は、付着した粉じんが再飛散しないように、袋などに密封して適切な廃棄処理をしてください。

警告

- アスベスト (石綿)、ヒ素、クロム等の有害性が高い粉じんに対して使用したろ過材は再使用しないでください。
- ろ過材は絶対に水洗いしないでください。

注意

- ろ過材が正しく取り付けられたことを軽く引いて確認したうえで、ラッチ部が正しく動いて確実に元の状態に戻っていることを確認してください。ラッチ部が正しく動作しないと、ろ過材の取り付け状態が充分でない可能性があり、はずれたりすき間が生じて粉じんなどが侵入したりするおそれがあります。

(2) 電池の装填

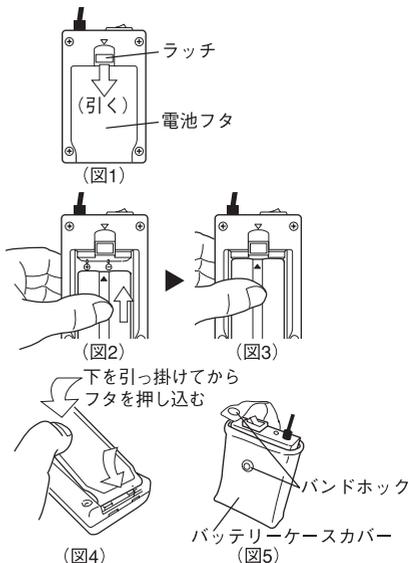
はじめてのご使用になる電池は満充電の状態ではありません。
必ず充電を行ってからご使用ください。

- ① ラッチを引き、電池フタを開けてください。(図1)
- ② 図を参照し、電池の▲マークが必ず上になるように電池を挿入します。
電池スペースの上部に突き出しているバッテリーケースの端子にあたらぬように、バッテリーをケースに入れてから上にスライドさせてください。(図2)
- ③ 端子にバッテリーが仮固定されます。(図3)
- ④ フタの下側の突起をバッテリーケース本体の穴に合わせてから電池フタを押し込み、ラッチが確実に引っ掛かるように閉じてください。(図4)
- ⑤ バッテリーケースカバーを使用する場合は、バッテリーケースをバッテリーケースカバーに入れてカバーのバンドホックを留めてください。(図5)

●はじめてのご使用や長期間使用していない場合は、充電が十分に行えないことがあります。その場合は2~3回充放電を繰り返して電池を活性化させてからご使用ください。また、充電を行う際は、十分に放電している状態で行ってください。

●電動ファンの運転時間が著しく短くなった場合は電池の劣化が寿命です。新しい電池と取り替えてください。

●新しい電池と交換しても改善されない場合は、修理を依頼してください。



警告

- 液漏れした液が手や衣類についた時は、直ちにきれいな水で洗い流してください。目に入った場合は失明の原因になることがありますので、こすらずにきれいな水で十分洗い流し、直ちに医師の治療を受けてください。

使用方法

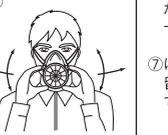
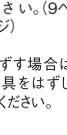
△危険

- 必ず専用の電池及びバッテリーケースをご使用ください。
専用品以外を使用した場合、電動ファンが正しく作動せず、に所定の性能が得られない原因、電動ファンの故障及び電池の発火・破裂・液漏れの原因になります。
- 電池やバッテリーケースの分解や改造、加熱、火中や水中への投入はしないでください。
- 電池やバッテリーケースの金属端子や電源コードのコネクタ接続部分は濡らさないでください。
- 電池を落としたり大きな衝撃を与えたりしないでください。
危険防止用の安全機構や安全装置が損傷し、発火・破裂・液漏れの原因になります。
- 表面が破損した電池は使用しないでください。
電池内部でショート状態になり、発火・破裂・液漏れの原因になります。

△警告

- 濡れた手でスイッチ操作、電池の出し入れ、コネクタの接続などを行なわないでください。
水分付着による故障や感電の原因となります。
- 電源スイッチの切り忘れをしないようにしてください。ご使用後は電池をバッテリーケースから取りはずしてください。
発熱、発火、液漏れの原因になります。
- 電池の表面の汚れや異物の付着は完全に清掃してください。

- (3) マスク部の装着のしかた — 安全区域内でバッテリーを接続しない状態で装着してください。 —
<使用前点検(5～6ページ)><ろ過材の取付け(7ページ)><電池の装填(7ページ)>を終了してから次の手順で装着してください。

| | | |
|--|---|--|
| <p>① タイプRBの場合</p>  <p>タイプRAの場合※ テープ ギョム</p>  | <p>② ポリバンドまたはテープの上部を後頭部に安定するようかけてください。</p>  <p>③ しめひも下側の左右の留具(フック、D環)を持ち、マスクを顔にあててください。首の後ろで留具を留めてください。</p>  <p>④ 接顔部(面体)は鼻梁部から顔に密着させた後にあご部を合わせてください。</p>  | <p>⑤ 装着したマスクを上・下左右に動かし、安定する位置にしてください。</p>  <p>⑥ 装着が完了したら、必ず“シールチェック(フィットチェック)”を行ってください。(9ページ)</p>  <p>⑦ はずす場合は、留具をはずしてください。</p> |
|--|---|--|

<しめひもの調節>

接顔部(面体)と顔の間にすき間なく装着できるように、また、過度に圧迫されないように、しめひもの長さを調節してください。しめひもの調節は次の手順で行ってください。

- ① 締める際は、フック、D環側のしめひもを引てください。
 - ② 緩める際は、つまみを起こしながら引ってください。
- ※タイプRA仕様



△警告

- しめひもは左右均等の長さで装着してください。
正しくマスクが装着できず、顔にきちんと密着しないおそれがあります。
また、片側に寄ってしまったしめひもが長く余っていると、しめひもが機械等に巻き込まれる等のおそれがあります。
- アレルギー体質の方や肌の弱い方は、マスクの使用により肌荒れや湿疹などを起こすことがあります。また、汗や粉じん、面体の汚れなどの影響によりそれらの症状が現れることがあります。その場合は使用を中止し、医師にご相談ください。
- 接顔部(面体)のすき間などから有害物質が漏れ込むおそれがありますので、次の行為は絶対行わないでください。
 - ・タオルなどを顔に当てた上から着用する。
 - ・シールチェック(フィットチェック)をせずに使用する。
 - ・接顔部にヒゲ、もみあげ、髪の毛が入り込んだまま使用する。
 - ・排気弁の動作を妨害するような口ひげやあごひげがあるまま使用する。

△注意

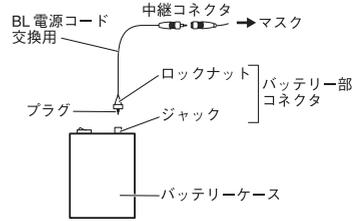
- しめひもの長さが合わない場合は、<しめひもの調節>の項目に従って長さを調節してください。
- しめひもに十分な弾力と締め付けに必要な強度があることを確認してください。
- しめひもを強く締めすぎるとフィット感が悪くなったり、長時間の作業では不快になったりするのでご注意ください。

使用方法

(4) マスク部とバッテリーケースの接続

コネクタおよび中継コネクタに汚れ、水分等の付着がないことを確認してください。

- ①バッテリーケースとBL電源コード交換用を接続してください。プラグをジャックに差し込んだら、ロックナットを回して確実に留めてロックされたことを確認し、バッテリーケースを装着してください。
- ②装着しているマスクからの電源コードとBL電源コード交換用を中継コネクタで接続してください。パチッと音がして、確実に接続されたことを確認してください。(ロックナットによるロック機能はありません) ※取りはずしの場合は、中継コネクタ同士を持ってまっすぐ引っ張ってください。

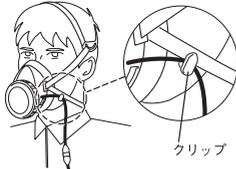


△注意

- 電源コードを引っ張る、持って振り回す、突起物などに引っかけるなどしないでください。装着していた場合は接顔部(面体)がずれてすき間が生じ、面体内に粉じんが漏れ込むおそれがあります。また、中継コネクタの破損やコードが抜けたり断線したりするおそれがあります。
- バッテリー部のコネクタは接続後、ロックナットを回転させてしっかりとロックしてください。

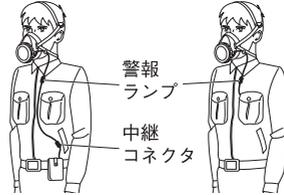
(5) クリップの取付け

装着しないマスクの電源コードがじゃまにならないよう、クリップでしめひもに留めてください。



クリップはしめひもの図中部分に挟んで留めます。

バッテリーケースを腰ベルトで装着する場合 バッテリーケースを胸ポケットに入れる場合



図のように、コードがつっぱったりせず、適当な余裕があることを確認してください。

△警告

- クリップをしめひもに留めて首を左右に動かし、マスクやバッテリーケースが電源コードに引っ張られないことを確認してください。接顔部(面体)がずれてすき間が生じ、面体内に粉じんが漏れ込むおそれがあります。また、中継コネクタやコードが抜ける原因になります。

△注意

- クリップをはずす際は、無理にコードを引っ張るなどしないでください。クリップのフックが、折れ曲がるなどして破損するおそれがあります。

(6) 「シールチェック(フィットチェック)」のしかた — シールチェック(フィットチェック)は、有害物質などのない安全な場所で行ってください。 —

接顔部などからの漏れ込みの有無を調べ、密着性が良い状態で装着するために、ご使用の都度必ず行ってください。(バッテリーケースの電源スイッチがOFFの状態で行ってください。)

- ①マスクを装着した後、フィットテスター(別売)を吸気口にはめ込みます。N型(BLA-6型・BLA-6C型に使用)の場合は、パイプの先端を指でつまんでください(右図)。BL-A型(BRD-8U型・BRD-7型に使用)は被せるだけです。
- ②吸気の際に空気の侵入がなく、面体が顔に吸いつくように感じられれば密着は良好です。
- ③面体内への空気の侵入が感じられる場合は一旦マスクをはずし、排気弁を中心に各部の再点検やしめひもの調節、マスクを適切な位置に調節などを行い、再度シールチェック(フィットチェック)を行ってください。
- ④密着性の確認ができましたら必ずフィットテスターをはずし、電源コードのコネクタの接続状態を確認し、バッテリーケースの電源スイッチをONにしてください。
- ⑤⑤の過材や電圧に問題がないことを警告ランプによって確認してから作業を開始してください。<警告ランプの作動(4ページ)をご覧ください。>



N型を使用した場合

△警告

- シールチェック(フィットチェック)は使用前に必ず行ってください。正しく装着されていないと、作業中に送風が低下した時に顔と接顔部(面体)のすき間などから、面体内に粉じんなどが侵入するおそれがあります。
- ヘルメットなどを装着する際にマスクがズれる場合は、すべての保護具を装着した状態でシールチェック(フィットチェック)を行ってください。
- フィットテスターをはずす際に、マスクがズれないようご注意ください。

△注意

- フィットテスターを取り付けた状態で電源スイッチを入れないでください。故障、破損の原因となります。

使用方法

2. 使用上の注意事項

使用の都度、必ず<使用前点検(5～6ページ)>に従って点検を行い、異常がないことを確認してください。

△危険

- 改造や交換可能箇所以外を分解したり、落とすなどの強い衝撃を与えたりしないでください。
精密な部品を内蔵しているため、故障、破損の原因となります。修理は弊社または販売店にご相談ください。

△警告

- 作業中に次のことがあった場合、ただちに安全区域内に退避して各部の点検を行い、問題が解決するまで使用しないでください。
 - ・送風量が低下すること
 - ・呼吸することが著しく苦しく感じられること
 - ・電動ファンが停止すること
 - ・警報ランプの点灯や点滅
 - ・呼吸する空気の状態が異常な温度上昇(下降)
 - ・その他異常と感ぜられること
- 電源コードを引っ張ったり、持って振り回したり、突起物などに引っかかないようにしてください。
接顔部(面体)がずれてすき間が生じ、面体内に粉じんが侵入するおそれがあります。また、中継コネクタの破損やコードが抜けたり断線したりする原因になります。
- 溶接作業や研磨作業などの際に、スパッタや火花などが発生する場合は、吸気口キャップ(別売)を必ずろ過材に取り付けてご使用ください。〔BL-100SC-05〕には吸気口キャップが付属しています。
吸気口からのスパッタや火花などの侵入を低減させる効果があります。吸気口からスパッタや火花などが侵入すると、ろ過材が破損するおそれがあります。

△注意

- 環境温度が5℃から40℃の範囲で使用してください。
電池の劣化や、誤作動の原因となります。
- 本製品は精密な電子部品を内蔵しています。20℃未満の環境に保管等されていた場合、結露によりセンサーが作動しない可能性があります。ご使用30分前は20～30℃の環境下に移し、結露の発生しない状態を確認してからお使いください。
バッテリーケースの電源をONにしても、電動ファンが正しく動作しない場合があります。
- 電源がOFFのまま使用しないでください。(雷管取扱作業で、バッテリーをはずして使用する場合は除きます。)
- 製品専用の電池やバッテリーケース以外は使用しないでください。
所定の性能を発揮できない場合があります。また、電池から液漏れ、発熱などの故障の原因になります。
- 電源コードのコネクタに物を差し込んだりしないでください。
故障の原因となるおそれがあります。
- 使用中にろ過材の吸気口をふさがないようにしてください。
電動ファンに負荷がかかり発熱、故障する原因となります。
- マスク内部やバッテリーケース内部に水等の液体が侵入する場所や湿度が高くなる状態では使用しないでください。
回路がショートするおそれがあります。液体や湿度の影響が考えられる環境下で使用する場合は、バッテリーケース用防滴カバー(別売)を使用してください。
- 警報がなくても送風量の低下を感じた場合は安全な場所に退避し、各部の点検及びセンサーの清掃を行って、十分な送風量が確認できてから作業に入ってください。
- 溶接作業、研磨作業の際は粉じん及びスパッタや火花が発生しますので、溶接面、防炎面を併用してください。
- 本製品を使用しない場合は、必ず、電源をOFFにしておいてください。
本製品の耐久性が著しく短くなる場合があります。
- 面体内に粉じんや異物、水等が入り込まないように、以下のような取扱いはしないでください。
 - ・作業中に面体ははずして首などにさげる。
 - ・粉じんや異物等の存在する場所で、マスクの装着や取りはずしを行う。
 - ・本製品を粉じんや異物等が存在する場所に保管する。上記などの取扱いによって、面体内に入り込んだ粉じんや異物、水等がモーター部や電気系統部分に侵入し、故障の原因となります。また、面体内に入り込んだ粉じんや異物を吸収し、身体に異常をきたすおそれがあります。
- 濡れた手でスイッチ、電池の出し入れ、コネクタの接続を行わないでください。
水分の付着による故障、感電の原因となります。
- 破裂等の原因となりますので、火中への投入はしないでください。
- 水中への投入はしないでください。
- 他の機器への転用など、本製品の使用目的以外の用途では使用しないでください。
動作及び安全の保証はできません。

3. 使用中の警報ランプについて

△警告

- 警報ランプが点灯した場合は、速やかに作業を中止し安全な場所で電池を充電するか、充電済みの電池に交換してください。
- 警報ランプが早い点滅をした場合は、ろ過材を新品のものに交換してください。
- ファンが回り放しの状態で警報ランプが早い点滅をしている場合は、排気弁やセンサー監視窓を清掃してください。

4. 取りはずし方法

- (1) 必ず安全区域内（清浄空気のある場所）に戻ってから、しめひもを緩めてマスクをはずしてください。
- (2) バッテリーケースの電源スイッチを OFF して、送風を止めてください。
- (3) 電源コードのコネクタをはずしてください。
- (4) ご使用の後、すぐにく保守管理について（11～15 ページ）に従って、お手入れや部品交換、保管を行ってください。

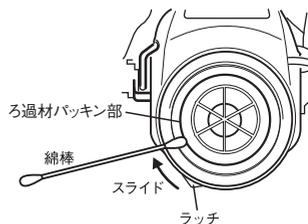
保守管理について

1. お手入れのしかた（必ずマスク使用直後に、有害物質などのない安全な場所でお手入れを行ってください。）

△注意

- 必ずろ過材をはずしてからお手入れを行ってください。
- お手入れ後は水分の付着がないように完全に乾燥させてください。

- ①付着した汚れや水分は、乾燥した布または水で軽く湿らせた布などでキズをつけないように拭き取ってください。
- ②汚れが著しいときは、ぬるま湯で薄めた中性洗剤を布に軽く湿らせて、キズをつけないように拭き取ってください。
- ③面体（接顔部）と顔が接する部分などは、消毒用アルコールを含ませた清潔な布などを使用して拭き取ってください。また、消毒用アルコールを使用して拭き取りした場合は、完全に乾燥させてください。
- ④バッテリーケースに油分や粉じんなどの異物があるときは完全に拭き取ってください。
- ⑤ろ過材パックン部に付着した汚れは、ラッチを矢印の方向にスライドさせてパックンを露出させ、乾燥した布または水で軽く湿らせた綿棒等、先端が柔らかく細いものを用いて、キズをつけないように拭き取ってください。
※ろ過材については、< 3. 部品の交換方法（13 ページ）>の「ろ過材」の項目に従ってください。
- ⑥排気弁や排気弁座、排気弁カバーに付着した粉じんや汚れ等も必ず清掃してください。
※< 5. 本製品を正しくお使いいただくために（15 ページ）>中のメンテナンス方法に従ってください。



△警告

- 下記の行為はろ過材の変形、破損及び性能劣化の原因となりますので絶対におやめください。
 - ・ろ過材に付着した粉じんを除去するために強くたたくなど、必要以上の力を加える。
 - ・付着した粉じんをコンプレッサなどの圧縮空気で吹き飛ばす、または掃除機などで吸引する。
 - ・ろ過材を水洗いする。
- アスベスト（石綿）、ヒ素、クロム等の有害性が高い粉じんに対して使用したろ過材は再使用しないでください。（1 回使用ごとに廃棄してください。）
- 使用済みのろ過材は、付着した粉じんが再飛散しないように袋などに密封して適切な廃棄処理をしてください。
- 排気弁座及び排気弁はキズをつけないようにしてください。
ご使用時に、面体内に粉じんなどが漏れ込むおそれがあります。
- センサー監視窓部に、キズをつけないようにしてください。
ファンが誤作動するおそれがあります。

△注意

- 本製品は精密な電子部品を内蔵しています。以下の行為は故障、破損の原因となりますので絶対におやめください。
 - ・改造や交換可能箇所以外の分解
 - ・落とすなど強い衝撃を与える。
 - ・水中に浸したり、水等のかかる場所での使用、及び水等による洗浄や水分が付着したままでの保管。
- 接顔部は常に清潔にしてください。
汚れがある場合は、肌荒れ、かぶれの原因となります。
- シンナーなどの有機溶剤で汚れを拭かないでください。
ゴム部品は劣化し、プラスチック部品は白濁、破損するおそれがあります。

※ご使用前に、排気弁（表裏共に）及び排気弁カバーに粉じんや汚れ、水分等が付着していないことを必ず確認してください。
センサーの作動に影響を及ぼし、ファンが正常に動作しないおそれがあります。

保守管理について

2. 電池の充電方法（充電器は「屋内使用専用」です。詳しくは充電器及び電池と同封の取扱説明書を参照してください）

充電電池L20の充電には専用の充電器L20用をご使用ください。

・はじめのご使用や長期間使用していない場合、充電が十分に行えない場合があります。その場合は2～3回充放電を繰り返して電池を活性化させてからご使用ください。

・電池の使用時間が著しく低下したときが電池の寿命です。新しい電池とお取替えください。

①充電台・ACアダプタ・電源コードを接続させ、プラグをコンセントに差し込んでください。

②充電電池を▲の向きに確実に充電台に挿入してください。充電中は充電表示ランプ（赤色）が点灯します。

③充電表示ランプが緑色に点灯したら、充電が完了です。プラグをコンセントから抜き、充電電池を充電台からはずしてください。

●充電表示ランプ

消灯……………充電台未装填時及びACアダプタ異常時

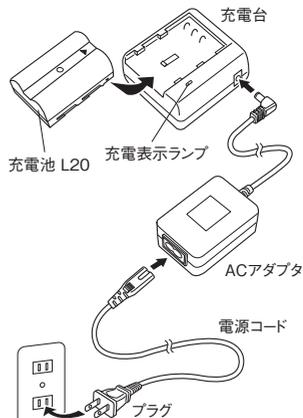
赤色点灯……充電時

緑色点灯……充電終了時

赤色点滅……充電台異常時

充電できないときは……

過放電や保護回路の作動により、上記方法で充電を開始しないことがあります。その場合は、一度充電台からACアダプタを抜き、充電電池を充電台に挿入してから再度ACアダプタを充電台に接続してください。この動作を充電が開始するまで複数回繰り返します。



△危険

●破裂・発火・感電・故障の原因となりますので、次の行為は絶対に行わないでください。

- ・充電器を濡らしたりすること。
- ・濡れた手で電源プラグを抜き差しすること。
- ・接点部に金属類を差し込むこと。
- ・専用充電器以外の充電器を使用して、専用電池を充電すること。
- ・専用充電器を使用して、専用電池以外の電池を充電すること。
- ・分解・改造をすること。
- ・雷が鳴っているときに充電すること。
- ・使用温度範囲（5～40℃）を超える場所で充電したり、直射日光のあたる場所や熱源がある場所で充電したりすること。

△警告

●発火・感電・ショート・故障・電池劣化の原因となりますので、次の行為は絶対に行わないでください。

- ・水やその他の液体や異物が充電器内部に入ること。
- ・コンセントや配線器具の定格を超える使い方。
- ・電源プラグを破損すること。
- ・電源プラグを根元まで差し込まずに充電すること。
- ・ほこりや砂、水滴などがかかる場所や湿度の影響を受ける場所での充電。
- ・充電済み電池の再充電

●発火・感電・ショート・故障を防ぐため、電源プラグのほこり等は使用前点検や使用後のお手入れの際に、定期的に確認して取り除いてください。

◎充電中に発熱や煙、異臭などの異常が発生した場合は、重大な事故につながる可能性があるため、直ちにプラグを抜いて使用を中止し弊社までご連絡ください。

◎充電時や電池取扱いにあたっては、充電器及び電池に付属している取扱説明書を良くお読みになり、正しくご使用ください。

保守管理について

3. 部品の交換方法（交換用品は、必ず専用の純正部品をご使用ください。）

ろ過材

●交換の時期

以下のいずれかの状態になった時は、ろ過材を新しいものと交換してください。

- 警報ランプが早い点滅をした場合※ 4 ページを参照
- 粉じんの堆積による目詰まりが原因になって送風量が低下した場合
- ろ過材が破損、変形、穴があいた場合
- ろ過材が著しく汚れた場合

●ろ過材の交換手順

ろ過材の取付け（交換）（7 ページ）を参照してください。>

吸気弁・排気弁

●交換の時期

ひび割れや亀裂、変形、キズなどの破損、ゴムの劣化によるべとつきなどがある場合は、新しい吸気弁や排気弁と交換してください。

予備を準備し、排気弁は 1 日ごとに交換してください。

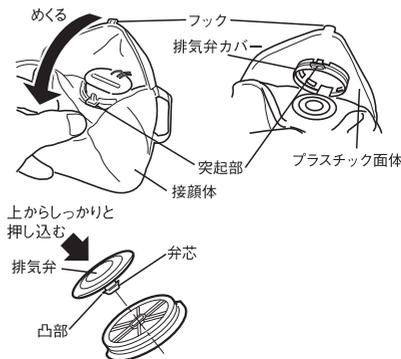
取りはずした弁は洗浄してケース等に入れ、汚れが付着しないように保管してください。

●吸気弁の交換手順

- ①面体内部についている古い吸気弁を吸気弁芯より取りはずします。
- ②新しい吸気弁を取り付ける際は、吸気弁の穴を少し広げながら、2ヶ所の吸気弁芯に確実に取り付けてください。

●排気弁の交換手順

- ①マスク部のプラスチック面体の上部フックから、覆い被さったゴムの接顔体をはずして外側にめくります。中にある排気弁カバー（半透明部品）の突起部に指をかけて上方に持ち上げて、カバーを開きます。
- ②中の古い排気弁をつまんで取りはずします。
- ③新しい排気弁を取り付ける際は、弁芯を排気弁座の中央の長穴に通します。排気弁中心部を上から確実に押し、弁芯の凸部が接顔体内側に出るまで確実に押し込んで取り付けます。
- ④弁芯の凸部が弁座の長穴を通り抜けて、凸部が接顔体の内側に完全に出たことを確認してから排気弁カバーを閉じます。パチンと音がするまで確実にはめてください。
- ⑤排気部を覆うプラスチック面体の上にゴムの接顔体を被せて、元に戻してください。



△注意

- 排気弁を交換する際は、電子部品の配線などに触れないようにしてください。誤って断線などを起こすと、ファンが作動しなくなります。
- 排気弁は、付属の排気弁と毎日入れ替えてください。はずした排気弁は必ず清掃して保管してください。排気弁が汚れていると、ファンが回り放しになり呼吸に追従しなくなります。

しめひも

●交換の時期

以下のいずれかの状態になったときは、新しい部品と交換してください。

- 著しく汚れた場合
- 十分な弾力やしめつけに必要な強度がない場合
- 破断した場合
- 留具やポリバンド・尾錠が破損した場合

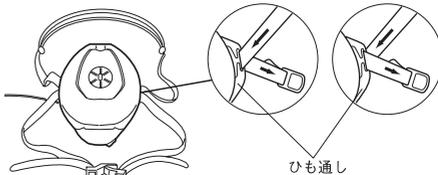
●交換の手順

- ①左右にあるひも通しから、しめひもをはずしてください。
- ②新しいしめひもを取り付ける際は、まず、しめひもを接顔体側から通し、ひも通しに確実にかけてください。（タイプRBの場合）タイプRAの場合は、外側から通し、ひも通しに確実にかけてください。

※しめひもの向き、ねじれにご注意ください。

タイプRBの場合 標準品

タイプRAの場合



保守管理について

吸湿スポンジ

接顔体内部に挿入して使用する、使い捨てタイプの吸湿材です。マスク使用中、接顔体内部に溜まる湿気や汗などによる水滴が不快な場合などに吸湿スポンジ D型もしくは卵型、またはその両方をご使用ください。

●交換の時期

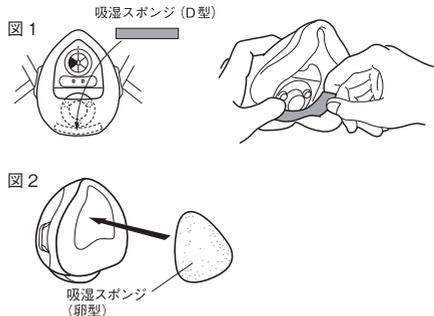
- ◎著しく汚れた場合
- ◎著しく破損した場合
- ◎作業の終了時など

●交換の手順 (D型: 図1)

- ①マスクの接顔体の内側を指で広げてください。
- ②吸湿スポンジを面体の底へ指で押し入れてください。スポンジはあらかじめ湿らせておりますが、乾いている場合は一度水に浸し、2～3回絞って柔らかくしてからご使用ください。

●交換の手順 (卵型: 図2)

- 卵型の細いほうを上にして、マスク面体の内側に入れてください。



△注意

- 吸気弁や排気弁の作動に支障がないよう注意して、面体内部にしっかりと入れてください。
- スポンジの装着時に吸気弁を傷つけないようにしてください。
- 吸湿スポンジ及び面体内部は常に清潔にしてください。
- 未使用の吸湿スポンジは、冷暗所で保管を行ってください。吸湿スポンジは直射日光により変色する場合がありますが品質には影響ありません。

吸気口キャップ (別売) BL-100SC-05 には付属しています。

吸気口キャップは、溶接作業や研磨作業などで発生するスパッタや火花などがろ過材の中に直接侵入するのを低減させ、ろ過材の破損や性能の劣化を防ぐために使用します。

- 使用が必要な作業環境・・・溶接作業や研磨作業などで、スパッタや火花が発生する作業。

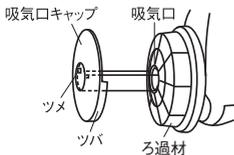
●交換の時期

著しい変形・キズなどの破損がある場合は、吸気口キャップを新しいものと交換してください。

※吸気口キャップを廃棄する際は、付着した粉じんが再飛散しないよう袋などに密封して適切な廃棄処理をしてください。

●交換の手順

- ろ過材をマスクに取り付けた状態で行います。
- ①吸気口キャップの内側にあるツメを、カチッと音がするまでろ過材の吸気口にしっかりと押し込んでください。
 - ②吸気口キャップのツバが、スパッタや火花の飛び具合に対して効果的な位置になるように調節してください。
- ※吸気口キャップをはずす際は、付着した粉じんが再飛散しないように丁寧にはずしてください。



△警告

- 溶接作業、研磨作業の際は粉じんに加えてスパッタや火花が発生しますので、溶接面、防災面を併用してください。
 - 溶接作業や研磨作業などの際にスパッタや火花などが発生する場合は、吸気口キャップ (別売) を必ずろ過材に取り付けてご使用ください。〔BL-100SC-05〕には吸気口キャップが付属しています。
- 吸気口キャップは、吸気口からのスパッタや火花などの侵入を低減する効果があります。吸気口からスパッタや火花などが侵入すると、ろ過材が破損するおそれがあります。

保守管理について

4. 保管のしかた

保管する前に

<使用前点検 (5～6 ページ)><保守管理について (11～15 ページ)>を参照し、本製品が正常な状態であることを確認・整備してください。

保管時または長時間ご使用にならない場合はバッテリーケースから電池を取りはずし、電源コードのコネクタをはずし、袋などに入れて内部にほこり等が入らないようにしてください。(長期保管をする場合は、電池の、電池の取扱説明書に従って保管してください。)

保管場所

お手入れ後は、温度差の激しい場所や湿度の高い場所は避け、積み重ねなどにより、面体、しめひも等について亀裂、変形などの異常を生じないように、乾燥した状態で保管してください。また、保管時は直射日光の当たらない場所に専用の保管場所を設け、保管状況が容易に確認できるようにしてください。

△警告

- 粉じん環境下でマスクの保管を行わないでください。
マスクに付着した粉じんを吸入し、身体に異常を来たすおそれがあります。

△注意

- 面体内に粉じんや異物等が入り込まないよう、本製品を粉じんや異物等が存在する場所に保管しないでください。
面体内に入り込んだ粉じんや異物等がモーター部や電気系統部分に侵入し、故障の原因となります。
- 保管中は直射日光の当たる場所や高温、多湿の場所を避けてください。
故障、ゴム部品の劣化等の原因となります。
- ご使用後や保管時は袋などに入れて密封するなどして、マスク内への汚れの侵入を防いで清潔な場所に保管してください。

本製品を正しくお使いいただくために

以下の内容について必ずご確認の上、ご使用ください。

① 部品の欠落はありませんか？

排気弁、吸気弁、ろ過材、しめひも、吸湿スポンジなどが正しく装着されていることを確認してください。

② マスクの内側 (接顔部 (面体) の内側やボンネットの内部)、排気弁、排気弁座は汚れていませんか？

汚れている場合、ぬるま湯または中性洗剤を用いて布などできれいに清掃してから使用してください。汚れたまま使用すると、マスク本来の防じん性能が保てなくなります。

また、排気弁が汚れているとファンが回り放しになります。必ず使用後は清掃済みの排気弁と交換してください。

③ 排気弁カバーの内側のセンサー監視窓が汚れていませんか？

汚れている場合、乾いた綿棒などでキズをつけないように丁寧に拭き取ってください。汚れやキズがあるとファンが回り放しになる場合と、ファンが回らない場合があります。

④ 排気弁が排気弁座の正しい位置に取り付けられていますか？

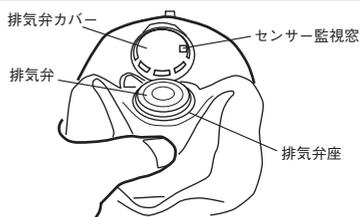
排気弁座に正しく取り付けられていないと十分な風量が保てなくなります。

②、③、④の確認方法及びメンテナンス方法について (マスクご使用後は、必ず清掃済みの排気弁に交換してください。)

① <排気弁の交換手順 (13 ページ)>に従い、右図のように排気弁カバーを開いてください。

② 排気弁カバーのセンサー監視窓に汚れが付着していたら、キズをつけないように乾いた綿棒などで取り除いてください。
また、排気弁が汚れている場合は排気弁座から取りはずし、ぬるま湯または中性洗剤で清掃してください。

③ 排気弁座に排気弁が確実に取り付けられていることを確認したら、排気弁カバーをパチンと音がするまで確実にはめて、ゴムの接顔体を被せて、元に戻してください。



⑤ マスクのろ過材は正しく取り付けられていますか？ また、マスクのろ過材パッキンやラッチに汚れが付着していませんか？

ろ過材を確実に付け直してください。また、汚れている場合は綿棒等できれいに清掃してから使用してください。

⑥ マスク側とバッテリーケース側の電源コードのコネクタ接続部分 (金属部分) に、水滴や粉じんなどが付着していませんか？ また、正しく接続されていますか？

コネクタの金属部分に水滴や粉じんなどが付着していると、ショートや接触不良の原因となります。水滴や粉じんなどが付着している場合、布などできれいに清掃し、完全に乾いてから確実に取り付けてください。

⑦ バッテリーケースに水滴や粉じんなどが付着していませんか？

ショートや接触不良、電池の破損などの原因となります。水滴や粉じんなどが付着している場合は布などできれいに清掃し、完全に乾いてから使用してください。また、水滴の付着を防ぐ「バッテリーケース用防滴カバー」(別売)があります。

⑧ 電池の残量はありますか？ (警報ランプが作動していませんか？)

警報ランプが作動している場合は安全な場所で電池を充電するか、充電済みの電池と交換してください。

交換用部品について

※詳しくは、お買いあげの販売店またはお近くの弊社営業所までお問い合わせください。
また、下記以外の部品の交換については修理（有償）になります

交換用部品は、必ず専用のものをご使用ください。

| | | | | |
|-------------|---|-----------------------|-----------------------|------------------------|
| 完成品※1 | BL-100U-03 電池、充電器付 | BL-100H-05 電池、充電器付 | BL-100S-05 電池、充電器付 | BL-100SC-05 電池、充電器付 |
| | 内容：面体部、専用ろ過材、交換用排気弁、吸湿スポンジD型、吸湿スポンジ卵型、専用充電電池、専用充電器、バッテリーケース（カバー付き）、BL電源コード交換用（20cm）、吸気口キャップ※2 | | | |
| 部品名 | 注文名 | | | |
| 面体セット | BL-100U-03 | BL-100H-05 | BL-100S-05 | BL-100SC-05 |
| | 内容：面体部、専用ろ過材、交換用排気弁、吸湿スポンジD型、吸湿スポンジ卵型、BL電源コード交換用（20cm）、吸気口キャップ※2 | | | |
| ろ過材 | アルファリングフィルタ BRD-8U | アルファリングフィルタ BRD-7 | アルファリングフィルタ BLA-6 | アルファリングフィルタ BLA-6C |
| しめひも | 頭紐タイプRB※3 | | | |
| 吸湿スポンジ | 吸湿スポンジD型（10枚入り） | | | |
| | 吸湿スポンジ卵型（50枚入り） | | | |
| 吸気弁 | 吸気弁小判型O4 | | | |
| 排気弁 | 排気弁T-8K | | | |
| 専用充電電池 | 充電電池L20 | | | |
| 専用充電器 | 充電器L20用 | | | |
| BL電源コード交換用 | BL電源コード交換用（20cm） | | | |
| バッテリーケース | バッテリーケースBL用（カバー付） バッテリーケースBL用（カバーなし） | | | |
| バッテリーケースカバー | バッテリーケースカバー BL用 | | | |

※1 「BL-100S-05RA 電池、充電器付」とご注文の場合、面体部にしめひもRAが付属しています。

※2 「BL-100SC-05 電池、充電器付」と「BL-100SC-05」のみに付属しています。（付属するのは1個です）

※3 しめひもがタイプRA仕様もあります。

オプション品（別売）について

| | | | | |
|-------------------|--|-----------------------|-----------------------|------------------------|
| | BL-100U-03 電池、充電器付 | BL-100H-05 電池、充電器付 | BL-100S-05 電池、充電器付 | BL-100SC-05 電池、充電器付 |
| 部品名 | 注文名 | | | |
| 吸気口キャップ | 吸気口キャップA型（2個入り）※4 吸気口キャップB型（2個入り） | | 吸気口キャップ（2個入り）※5 | |
| プレフィルター | プレフィルターA型（10枚入り）※4 プレフィルターB型（10枚入り） | | — | |
| フィットテスター | フィットテスター BL-A型 | | フィットテスターN型 | |
| 腰ベルト | 腰ベルト BL用 | | | |
| バッテリーケース 防滴カバー | バッテリーケース防滴カバー BL用 | | | |
| 専用フード※6 | フード1型（1枚入り：防曇加工） | | | |
| | フード2型（10枚入り：曇り止め液付き） | | | |

※4 アスベスト（石綿）除去作業の際にご使用ください。

※5 「BL-100SC-05 電池、充電器付」には付属しています。

※6 ダイオキシン類のばく露のおそれがある作業、アスベスト（石綿）除去作業、インジウム等の有害性の高い物質を取り扱う作業等の際には顔面等への有害物質の付着を防止するため専用フードの併用をお薦めします。



製品に関するお問い合わせは、本社または最寄りの営業所までお願い致します。

お買い上げ日 年 月 日

本社 東京都千代田区四番町7番地 Tel.03(5276)1911(大代表)

営業所 北海道 Tel.011(832)3911 北 陸 Tel.076(298)1010

仙 台 Tel.022(374)0420 大 阪 Tel.06(6326)9223

新 潟 Tel.025(255)0121 神 戸 Tel.078(511)0414

千 葉 Tel.043(293)0411 倉 敷 Tel.086(423)2321

熊 谷 Tel.048(524)2928 広 島 Tel.082(511)1281

東 京 Tel.03(5276)8063 四 国 Tel.0897(34)8927

横 浜 Tel.045(242)6566 九 州 Tel.0942(38)1651

名古屋 Tel.052(753)7872 長 崎 Tel.095(844)8406

※改良などのため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

2021年10月現在

A21021・NS